

会 議 録

会 議 名	令和7年度第1回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和7年6月24日（火）午前10時00分から午前10時55分		
開 催 場 所	市役所西庁舎 第五会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米委員 中嶋委員 日高委員		
欠 席 委 員	井上委員 神山委員 大熊委員		
事 務 局 員	濱松生涯学習課長 碓井文化財係長 高木主任（学芸員） 海谷文化財センター職員		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p> (1) 報 告 令和6年度の事業報告について</p> <p> (2) 議 題 ア 令和7年度の事業計画について イ 「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の検討状況について</p> <p> (3) その他</p> <p>3 視 察 小金井市立小金井第一小学校の発掘調査現場</p> <p>4 次回の市史編さん委員会日程 令和7年10月28日（火）10：00～ 602会議室</p>		

会 議 結 果

濱松生涯学習課長	<p>皆様おはようございます。本日はご多忙の折、令和7年度第1回市史編さん委員会にご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>本日の市史編さん委員会ですが、井上委員から欠席の御連絡をいただいております。また、市議会会期中のため、神山副市長及び大熊教育長の公職者委員2名が本日は欠席させていただいております。</p> <p>それでは、議題に先立ちまして、本日の配布物の確認をお願いいたします。</p>
碓井文化財係長	(資料確認)
濱松生涯学習課長	それでは、この後の議事進行につきましては、根岸委員長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。
根岸委員長	よろしく申し上げます。それでは早速、議事に入ります。
根岸委員長	<h3>2 議 事</h3> <p>(1) 報 告</p> <p>それでは、「(1) 報告」の「令和6年度の事業報告について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任(学芸員)	<p>令和6年度の市史編さん委員会は、予定通り3回の会議を開催させていただくことができました。</p> <p>議事内容では、令和6年度は主に「ビジュアル版 小金井市史(仮)」の内容につきご議論をいただきました。</p> <p>翻刻事業では、『小金井市史編纂資料第64編 梶野新田梶野家文書(7)』を刊行いたしました。</p> <p>「古文書調査委託事業」では、梶野家文書につき、例年通り根岸委員長に筆写をお願いさせていただきました。</p> <p>続いて、文化財保護事業ではありますが、関連で2点報告します。隔年で刊行しております『文化財ブックレット』のNo.3「小金井桜拾遺」(名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業)を刊行し小金井桜の起源説等を考察しております。</p> <p>『平代坂遺跡発掘調査報告書』では、令和5年度に小金井市域において中世道路跡が初めて発見された調査成果を所収しています。当該報告内容は、今後「ビジュアル版 小金井市史(仮)」の内容にも関わる部分はあると思いますので、是非ご覧くださいませようお願い申し上げます。</p>

根岸委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>(2) 議題 それでは、「(2) 議題」の「ア 令和7年度の事業計画について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
高木主任(学芸員)	<p>「市史編さん委員会」は、年3回の開催を予定しております。 「編集委員会議」は、令和7年度においても、「ビジュアル版 小金井市史(仮)」の内容・レイアウト・体裁等の具体的な部分についてご議論をいただくことを想定しております。 「古文書調査委託」は、令和7年度も梶野家文書の筆写を行っていただくことを予定しております。 「市史編纂資料」は、令和7年度は「梶野新田梶野家文書」の第8巻の刊行を予定しております。 「多摩郷土誌フェア」(社会教育課長会文化財部会主催)は、令和7年度は令和8年1月17日(土)・18日(日)の両日に、立川市内において開催することを予定しております。 文化財センター秋の企画展は、令和7年が昭和100年・戦後80年の節目の年であることから、昭和時代にスポットを当てた展示を行う予定です。 以上、主に「市史編さん事業」に関連する事業について中心に説明させていただきました。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
根岸委員長	<p>それでは、「(2) 議題」の「イ 『ビジュアル版 小金井市史(仮)』の検討状況について」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
海谷文化財センター職員	<p>「ビジュアル版 小金井市史(仮)」刊行に係るスケジュールにつきましては、「令和6年度 第3回 市史編さん委員会」の開催時より、特段の変更はございません。</p>

	<p>令和7年度より、事務局におきまして、「原稿執筆」「作図」の作業を開始しています。令和7年6月24日現在の進捗状況といたしましては、予定よりも多少遅れている、という状況でございます。</p> <p>刊行する書籍のタイトルにつきましては、令和6年度までの本委員会におけるご議論の中で、「小金井市史ビジュアル版 見る・読む・調べる小金井の歴史」「小金井市史ビジュアル版 見て読む小金井」の2案にまで絞り込まれており、最終的な決定は今後原稿執筆等の作業が進み、内容が徐々に見えてくる中で改めて本委員会の場でご議論をいただく中で決定していくものと考えております。</p> <p>なお、刊行時期につきましては、市政施行70周年に当たる令和10年（2028年）秋の刊行を目指しております。</p> <p>次に、令和7年5月16日に開催いたしました「編集委員会議」においてご議論をいただきました、刊行する書籍の見開きの紙面、即ち内容の中心となる紙面の解説文の文章量と文字の大きさの関係について検討いたしました。</p> <p>見開きですと、紙面の大きさはA3サイズとなりますが、文字サイズが通常の書籍等においてよく用いられる「10ポイント」の場合は1段当たり約1,160字程度、それよりも少し大きい「11ポイント」の場合は1段当たり約1,000字程度入る、という形になりました。</p> <p>文字の大きさにつきましては、「令和7年度 第1回 市史編さん委員会」の場において決定しなければならない事項ではございませんが、ご覧の通り、見た目の「読みやすさ」は多少変わってきますので、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」は、子どもの学習用教材としての活用を想定していることに鑑みますと、「読みやすさ」という観点も1つポイントになるのでは、と考えております。</p> <p>私からの説明は以上です。</p>
根岸委員長	<p>ありがとうございました。「文字の大きさ」につきましては、これまで「編集委員会議」におきましてご議論をいただいていたところではございますが、ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等はございますか？</p>
牛米委員	<p>このように見た目に分かりやすくお示しいただくと、やはり「文字が大きい方が見やすい。」ということがはっきりとわかります。文字の大きさは、「文字数＝文章量」とも絡んでくるので、今後原稿作成等を進めていく上では、早めに決めていく必要があると考えます。</p>
海谷文化財センター職員	<p>では、文字の大きさに関しましては、次回の「編集委員会議」の場でもより緻密な精査をお願いさせていただいた上で決定する、という流れではいかがでしょうか？</p>

<p>根岸委員長</p>	<p>「文字が大きい方が見やすい」というのは当然なのですが、やはり執筆作業を行う中で、どうしても説明文が長くなってしまい、途中で無理に切ってしまうことで、文章の内容や前後の繋がりに不自然さが生じてしまう可能性もございますので、「読みやすさ」は当然重要なファクターではありますが、ある程度の文章枠はあった方が文章を書きやすいのでは、という思いはあります。</p>
<p>海谷文化財センター職員</p>	<p>他自治体の同類の刊行物の例ですと、やはり10ポイントまたは11ポイントのものが多く、国分寺市刊行の「国分寺市の今昔」はおそらく10ポイントと思われま。一方、狛江市刊行の「新・狛江市史普及版 狛江の成り立ちとあゆみ」は、おそらく11ポイント程度であると思われま。</p> <p>「文字が大きい方が見やすい。」という印象があることは事実ですが、「読みやすさ」は「文字の大きさ」だけで決まるものではなく、1行の長さや行間の幅によっても変わってきますので、一概に「文字が大きい＝見やすい」ということではなく、お示しさせていただいた国分寺市・狛江市の事例であれば、いずれも極端に「読みにくい。」ということはないと考えています。</p> <p>本件につきましては、次回の「編集委員会議」の場でより細かい議論をお願いさせていただいた上で決定していただければ、と思います。</p>
<p>日高委員</p>	<p>図版の部分は、現状ダミーで入れていただいておりますが、この部分はページによって大きさもフォームも全く変わってきますので、実態としては、文字の大きさがすべて同じであったとしても、文章として書くことができる文字数はページによって全く異なってくると思われま。</p> <p>また、「振り仮名」をきちんと振る必要があると考えており、その観点で見ますと、本文の文字サイズが10ポイントの場合、「振り仮名」の文字がかなり小さくなる、という印象を持っています。一方、「振り仮名」の文字サイズのみを大きくする、というのは行間のバランスが崩れてしまうリスクもありますので、その観点で考えますと、やはり本文の文字サイズは11ポイントの方が良いのでは、と考えます。本日資料としてお示しいただいているダミー図の例ですと、本文の文字サイズを10ポイントから11ポイントに拡大した場合、5行分溢れてしまい、説明文が2段目部分に少しはみ出す形になりますが、このようなケースは、今後説明文の執筆を進めていく中では、他のページにおいても起こり得ると考えており、図版の部分を見開きの左側に寄せることで対応可能と考えますので、やはり文字サイズは大きい方が良いと個人的には考えます。</p>

牛 米 委 員	文字サイズについては、全ページの構成に影響するため、早く決めた上で執筆作業を進めていく必要があると考えます。
海谷文化財センター職員	文字サイズを「11ポイント」とした場合、お示しさせていただいたダミー図のとおり、説明文の文字数は見開き毎に「1,000字」程度を上限とする、という形でよろしいでしょうか？
牛 米 委 員	説明文の文字数につきましては、「1,000字」程度を目安としますが、あまり拘り過ぎず、もし文字数がオーバーした場合は、図版のサイズや位置で調整しつつ進めていく、という感じで良いと考えます。
海谷文化財センター職員	なお、ルビ（振り仮名）の文字サイズは、通常、本文の文字サイズの半分のサイズ、というのが一般的なため、本文の文字サイズを「10ポイント」とした場合、ルビ（振り仮名）の文字サイズは「5ポイント」となり、名刺で常用される最小サイズの文字サイズと同じとなりますので、「もう少し大きい方が良いのでは。」と考えます。
中 嶋 委 員	確認ですが、原稿執筆につきましては事務局に担っていただく、ということよろしいでしょうか？
海谷文化財センター職員	現状におきましては、原稿執筆作業は事務局において担当させていただくこととなっています。
中 嶋 委 員	編集委員が執筆作業を行ってしまうと、必然的に文章が長くなってしまふ懸念がありますので、執筆については説明文を記載するスペースと文字数について十分理解している事務局において進めていただく方が効率的に作業を進めることができると考えます。
海谷文化財センター職員	原稿執筆及び校正作業につきましては、現段階において未定の部分もあり、編集委員の皆様にとどのように校正作業を行っていただくのかにつきましては、今後の決定事項になりますが、原稿執筆の作業につきましては、事務局にて進めさせていただければ、と考えております。
海谷文化財センター職員	ですので、本日の会議の場において、「テーマ毎の説明文の文字数は概ね1,000字以内」と決定していただければ、事務局といたしましても効率的に作業に着手することができるようになります。
海谷文化財センター職員	今後原稿執筆を進めていく上では、事務局の作業体制の整備も大きな課題であり、進め方については今後本委員会においても議題としてまいりたい、と考えています。

根岸委員長	「令和7年度 第1回 市史編さん委員会」においては「近世」の事例のみお示しいただいていますが、他の時代区分についても、今後事例をお示しいただいた上で議論を進めていければ、と思います。
海谷文化財センター職員	スケジュール上は、令和7年度より原稿執筆に取り掛かることとなっていますので、次回の「編集委員会議」の際には、各自時代区分毎の事例案をお示しさせていただけるよう、作業を進めてまいりたいと考えております。
根岸委員長	さらに申し上げるなら、「令和7年度 第1回 市史編さん委員会」においてお示しいただいた「近世」の事例につきまして、平代板遺跡について、凸凹のある図面を掲載していただくと、よりリアル感が増してよいと考えます。
海谷文化財センター職員	<p>今ご説明いただきました内容につきましては、これまでも根岸委員長よりご意見を賜っており、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」につきましては、全ページカラー印刷となりますので、国土地理院のデータを元に、高低表現を色別にした地図表現とすることは可能です。</p> <p>なお、高低表現の手法としては様々な事例がございますので、どれが相応しいかにつきましては、今後本委員会の場におきましてご議論を賜れば、と思います。</p>
根岸委員長	「赤色立体地図」なども例としてありますが、少し目にうるさい、という難点があり、やはり「目に優しい」という点は重視すべきと考えます。
海谷文化財センター職員	狛江市刊行の「新狛江市史普及版 狛江の成り立ちとあゆみ」におきましては、まさに国土地理院のデータを元に、高低表現を色別にした地図表現を活用しています。
日高委員	「赤色立体地図」につきましては、1冊全体を通して使う図としてはあまり向いていないように思います。やはり、1冊全体を通して同一の規格で統一させる形が良いと思います。
根岸委員長	府中市の事例ではそのような手法が取られています。
日高委員	「都市計画図」のような、建物が記載されている図面は、どうしても無味乾燥な印象を受けてしまいますが、それとは違った「地形が分かるような地図」があると良いと思います。

	<p>どのような地図にするのかについての細部については、「編集委員会」において議論し、決めていければ良いと思います。</p>
根岸委員長	<p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
牛米委員	<p>「近世」以外の時代区分の事例につきましては、次回の「編集委員会」の際にお示しいただける、ということでしょうか？</p>
海谷文化財センター職員	<p>次回の「編集委員会」までにはご用意させていただきます。</p>
牛米委員	<p>個人的には「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の刊行に向けた作業は、決して簡単なものではない、と考えています。</p> <p>文字の大きさを本日の議論の中で決めたのも、「近世」以外の時代区分の事例について早くお示しいただくようお願いさせていただいたのも、「市制施行70周年」という完成時期がはっきりしている中で、そこから逆算してよりスピード感を持って作業を進め、作業を通じて見えてきた懸念事項について、スピード感を持って議論・決定していくことが大切である、との考えに基づいています。</p>
根岸委員長	<p>他にご意見・ご質問等はございますか？</p>
日高委員	<p>「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の原稿執筆に際しましては、「小金井市史（通史編）」「小金井市史（資料編）」等の既刊の刊行物の文章を「材料」にしていく形になると思いますので、何らかの形でそれぞれの当時の執筆者の方々へのご連絡及びご了承をいただく、ということは事務局において忘れずに行っていたら、と思います。</p>
牛米委員	<p>権利についてはあまり詳しくはありませんが、基本的には既刊の市の刊行物からの引用ですので、権利は市に帰属する、という考え方になるものでは、と思いますが。</p>
日高委員	<p>私見としましては、引用候補となっている執筆者の方に個別に私名義でご連絡をさせていただき、引用の旨のご報告と合わせ、何かあった際にはご協力をお願いする、ということはやぶさかではありません。</p> <p>やはり改めて当時の執筆者の方に確認させていただく内容もあるかもしれませんが、ご報告と合わせご協力を依頼する、という形がよいかと思います。</p> <p>そのような状況が生じるか否かは別として、「絶対ダメ」という意向を示される方がいらっしゃる可能性もゼロではなく、その場合は対応</p>

	策の検討も必要になるので、やはり早めにご連絡を取っていただくのがよいかと思います。
海谷文化財センター職員	令和6年度までの本委員会の会議録は既に公開されておりますので、小金井市が、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の刊行に向けて動き始めていること自体は公知されています。
日 高 委 員	引用・編集（リライト）について現代編の中嶋委員はいかがでしょうか？特に「現代」の場合、「通史編」以上の内容を掲載する可能性もあるのでは、と思います。
中 嶋 委 員	「現代」に関しましては、事例を未だお示しいただいていませんので、それをお示しいただいてから議論すべきと考えます。「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の刊行に向けての作業を開始する旨の「報告」を主眼としたものの方がよいと考えます。その上で、引用・編集（リライト）に疑義がある方がいらっしゃれば、その旨ご連絡をいただければと思います。
牛 米 委 員	文書でお知らせすること自体はやるべきと考えます。
根 岸 委 員 長	他にご意見・ご質問等はございますか？よろしいでしょうか？
委 員 全 員	（特になし）
根 岸 委 員 長	(3) その他 それでは、「(3) その他」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
碓 井 文 化 財 係 長	事務局からは特にございませぬ。
根 岸 委 員 長	4 次回の市史編さん委員会日程 それでは、「4 次回の市史編さん委員会日程」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
碓 井 文 化 財 係 長	令和7年度 第2回 市史編さん委員会につきましては、令和7年10月28日（火）午前10時より、602会議室におきまして開催させていただきたい、というのが事務局案でございます。
委 員 全 員	（異議なし）

根岸委員長	<p>以上で本日の議題は全て終了いたしました。他に何かございますでしょうか？よろしいでしょうか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
濱松生涯学習課長	<p>本日の会議をもちまして、「市史編さん委員会（第5期）の会議は終了となります。</p> <p>委員の皆様におかれましては、令和4年度からの3年間、「ビジュアル版 小金井市史（仮）」の刊行に向けたテーマを中心に、市史編さん事務につきまして、様々なご議論・ご検討を賜り、誠にありがとうございました。</p>
根岸委員長	<p>それでは、以上をもちまして令和7年度 第1回 市史さん委員会を終了させていただきたいと思っております。どうもありがとうございました。</p> <p>(小金井市立小金井第一小学校の発掘調査現場へ視察)</p>